

一般廃棄物（ごみ）処理手数料の改定について

平成28年4月の改定から3年が経過するため、平成31年4月の改定に向け、見直しするもの

見直し経過・今後の予定

月	市・審議会	長野広域連合
H30年5月14日	長野市廃棄物減量等推進審議会へ諮問	
9月6日		ごみ処理手数料審議会から連合長へ可燃ごみ搬入手数料答申
9月7日 10月2日	専門部会で審議 第1回 ごみ処理手数料の見直しについて 第2回 答申に伴う付帯意見について	
11月7日	長野市廃棄物減量等推進審議会にて答申審議	
11月13日	審議会議長から市長へ答申	
12月	廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正	
H31年2月28日	清掃センター可燃ごみ搬入手数料廃止(160円/10kg)	
3月1日		ながの環境エネルギーセンター稼働、可燃ごみ搬入手数料適用 160円/10kg
4月1日	新手数料適用	

ごみ処理手数料改定答申案

- ・平成31年3月から可燃ごみは長野広域連合ながの環境エネルギーセンターで処理し、搬入手数料は長野広域連合で設定することから、清掃センターに搬入する事業系可燃ごみ処理手数料は廃止
- ・可燃ごみに係る処理原価は、ながの環境エネルギーセンターの処理単価を基に算出
- ・ペット焼却の分離焼却は廃止

区 分		現行の手数料	改定手数料(案)	改定率	
一般廃棄物(ごみ)	1 集積所に出すごみ	可燃ごみ	1円/L	据え置き	—
		不燃ごみ	1円/L	据え置き	—
		粗大ごみシール	40円/枚	据え置き	—
		資源物	手数料無し	据え置き	—
	2 清掃センターに直接搬入するごみ	不燃ごみ	200円/10kg	170円/10kg	△15.0%
		資源物	30円/10kg	据え置き	—
	3 一時的に多量に排出されるごみ	2トン車 1台分	25,500円/回	25,800円/回	1.2%
		2トン車 1/2台分	16,000円/回	16,300円/回	1.9%
		2トン車 1/4台分	11,300円/回	11,600円/回	2.7%
	4 特定家庭用機器廃棄物	収集	4,300円/回	4,400円/回	2.3%
		搬送	1,400円/台	1,500円/台	7.1%
	5 犬、猫等の死体処理(ペット焼却)	収集・一般焼却	4,300円/件 +500円/匹	4,400円/件 +160円/10kg	2.3% —

※改定する手数料は、端数切捨てのため消費税が増税となっても変更ありません。

1 集積所に出すごみ（家庭ごみ）処理手数料の見直し結果

答申内容		手数料収入 見込額	ごみ処理経費 見込額	割合
1円/L	据え置き	346,751千円	3,312,557千円	10.5%

※手数料収入見込額・ごみ処理経費見込額はH31～H33(2021)の平均

理由

次の見直しポイントを全てみたしているため、据え置きとするもの

- ① 一定の排出抑制効果を得ているか
- ② ごみ処理経費から見た手数料負担割合に大きな変化がないか
- ③ 1世帯当たりの月額負担額に大きな変化がないか
- ④ 周辺市町村の手数料と比較して大きな差がないか

・ごみ処理経費の算出に当たっては、長野広域連合ごみ処理施設の費用から算出しました。

見直しポイント

① 一定の排出抑制効果を得ているか

平成21年10月1日に導入した可燃・不燃ごみの有料化以降、家庭ごみ量は減少しており、今後も減少傾向が予測される

② ごみ処理経費から見た手数料負担割合に大きな変化がないか

ごみ処理経費からみた負担割合は、今後も概ね10%で推移する見込み

③ 1世帯当たりの月額負担額に大きな変化がないか

今後も1世帯当たりの月額負担額に大きな変化が生じることはない

④ 周辺市町村の手数料と比較して大きな差がないか

ながの環境エネルギーセンターを利用する6市町村では、1円/Lの手数料を設定している市町村が多数

2 清掃センターに直接搬入するごみ処理手数料の見直し結果 5

単位 円/10kg

区分	現行手数料	改定手数料(案)	改定率	処理原価
不燃ごみ	200	170	△15.0% (値下げ)	355
資源物	30	据え置き	—	253

※処理原価、売却単価はH31～H33(2021)の見込額の平均

理由

不燃ごみについては、長野広域連合最終処分場の稼働(H32(2020)年10月)を見込み、これまで市外の民間施設へ処理委託していた最終処分費が削減されることから、**値下げ**

資源物については、資源の有効活用を図り、分別の促進・ごみの減量を図るため、据え置き

見直しポイント

① 処理原価に対する負担割合が妥当であるか

不燃ごみは、処理原価の50%相当額に設定したもの

資源物は、分別の推進を図り、資源の再生利用を促進する観点から据え置くもの

② 周辺市町村の搬入ごみ手数料と比較して大きな差がないか

改定後の不燃ごみの手数料については、周辺市町村の施設と比較しても大きな差はない。

3 一時的に多量に排出されるごみ処理手数料の見直し結果

単位 円/回

区分	現行手数料	改定 手数料(案)	改定率	処理原価 (消費増税前)	処理原価 (消費増税後)
2トン車 1台分	25,500	25,800	1.2% (値上げ)	25,842	25,889
” 1/2台分	16,000	16,300	1.9% (値上げ)	16,320	16,367
” 1/4台分	11,300	11,600	2.7% (値上げ)	11,647	11,695

※処理原価はH31～H33(2021)の見込額の平均

理由

- ・収集運搬に関する費用の人件費、車両整備費は増加
- ・ごみ処分に関する費用の可燃ごみ処理費は増減なし、不燃ごみ処理費は減少
- ・トータルの処理原価が増加したことから値上げ

見直しポイント

① 処理原価に対する負担割合が妥当であるか

利用者には、処理原価の100%負担を求めるもの

② 周辺市町村の搬入ごみ手数料と比較して大きな差がないか

周辺で実施している市町村はおらず、市独自のもの

4 特定家庭用機器廃棄物処理手数料の見直し結果

単位 円

区分	現行手数料	改定 手数料(案)	改定率	処理原価 (消費税前)	処理原価 (消費税後)
収集運搬 (収集1件につき)	4,300	4,400	2.3% (値上げ)	4,400	4,405
搬送 (家電1台につき)	1,400	1,500	7.1% (値上げ)	1,579	1,598

※処理原価はH31～H33(2021)の見込額の平均

理由

収集運搬及び搬送に関する費用のうち、人件費が増加の一方、燃料費が減少し、トータルの処理原価が増加したことから値上げ

見直しポイント

① 処理原価に対する負担割合が妥当であるか

利用者には、処理原価の100%負担を求めるもの

② 周辺市町村の搬入ごみ手数料と比較して大きな差がないか

周辺で実施している市町村はおらず、市独自のもの

5 犬、猫等の死体処理（ペット焼却）処理手数料の見直し結果

単位 円

区分	現行手数料	改定 手数料(案)	改定率	処理原価 (消費増税前)	処理原価 (消費増税後)
収集運搬 (収集1件につき)	4,300	4,400	2.3% (値上げ)	4,400	4,405
犬、猫等の死体重量 10kgまでごとに	+1匹ごとに 500円	160	—		160

※処理原価はH31～H33(2021)の見込額の平均

理由

収集運搬費用については、特定家庭用機器廃棄物処理手数料と同様の理由により、**値上げ**
 処分費用については、ながの環境エネルギーセンターで処理することとなるため実質**値下げ**
 (定額制から従量制へ)

見直しポイント

① 処理原価に対する負担割合が妥当であるか

利用者には、処理原価の100%負担を求めるもの

② 周辺市町村の搬入ごみ手数料と比較して大きな差がないか

周辺で実施している市町村はおらず、市独自のもの

付帯意見

- 1 可燃ごみに含まれる食品ロスは、減量できる余地が大きくあることから、家庭ごみ・事業系ごみともに積極的に減量を推進されたい。
- 2 家庭ごみの可燃ごみ、不燃ごみ及びプラスチック製容器包装指定袋に混入する分別不適合物を減量するため、更なる分別啓発を推進されたい。
- 3 手数料納付済シールは、数年のうちに販売数が減少していくことから、旧指定袋のごみ集積所への排出状況等を検証し、業務の効率化を検討されたい。
- 4 可燃ごみの焼却処理は、平成31年3月から長野広域連合のながの環境エネルギーセンターで処理することとなる。処理主体が長野広域連合となった後も展開検査等を通じて、事業者へごみの減量・分別の徹底を図られたい。